

2021 年第 4 回 ABAC 会議ニュースリリース【仮訳】

2021 年 11 月 10 日
ニュージーランド・ウェリントン

【アジア太平洋地域のビジネス界代表から APEC 首脳へ】

パンデミックからの経済回復、貿易・気候変動・格差の諸課題に共に取り組む

APEC ビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）のビジネス界の代表は、本年の APEC 首脳会議に先立ってバーチャル会合を開き、地域がいま直面する課題を克服するために、アジア太平洋地域の取り組みの中心に「人」を置く、総力を挙げたアプローチが必要であることを確認した。

ABAC 議長のレイチェル・タウレレイ氏は、「パンデミックからの経済回復、貿易、気候変動、格差など今日われわれが直面している課題は、すべての APEC 参加国・地域が共に取り組みことによってのみ豊かで平和で強靱な未来が達成されることを示している」と述べた。

「包摂は持続可能性と経済成長から切り離しては成し遂げられず、人々のニーズがわれわれの行うすべてにおいて最優先されなければならない」「これらの要素はすべて相互に関連し、支え合っている」とタウレレイ氏は語った。

ABAC 議長は、これらのメッセージが 2021 年の最終会合となる第 4 回 ABAC 会議でのプレゼンテーションと十分に共鳴したと言及した。会議においては、ニュージーランドのナナイア・マフタ外相による基調講演、ヘレン・クラーク元ニュージーランド首相との APEC 地域の将来に関するディスカッション、IMF のペティア・ブルックス博士からの経済見通しのプレゼンテーション、および APEC 高級実務者会合の新旧議長からのブリーフィングなどが行われた。

タウレレイ氏は、本年の ABAC の提言書は、「人、場所、繁栄（英語：People, Place and Prosperity、マオリ語：Tāngata, Taiao me te Taurikura）」のテーマの下で詳述され、11 月 12 日（日本時間 11 月 11 日）に開催される APEC 首脳との ABAC 年次対話において参照されると説明した。

「対話は、われわれの提言書に盛り込まれている提言内容について、APEC 首脳と直接話し合う貴重な機会である。パンデミックからの経済回復について、われわれはワクチン接種が公衆衛生の危機を克服し、国境を安全かつ継ぎ目なく再開し、経済成長を始動する重要な鍵になると考えている。」

「現在開催されている COP26 会議を念頭において、われわれは ABAC の「企業のための気候変動対策のリーダーシップに関する原則」を強調し、「再生可能エネルギー分野の貿易・投資のための枠組み」を採用するために APEC に働きかける。これらのイニシアティブは、低炭素の未来への移行と地球の持続可能性の保護に不可欠である。

「本年の前半に、われわれは世界貿易機関（WTO：World Trade Organization）支持に関する詳細なステートメントを発表した。われわれはまた、まもなく開かれる WTO 閣僚会議の議長宛に、WTO の強化につながる野心的で広範囲におよぶ決定を行うことの重要性を強調する書簡を送った。

「パンデミックの間に格差が広がっている。それゆえわれわれは、中小企業、女性、先住民社会に活力を与えるために緊急で必要とされる能力構築と構造改革を提唱している。」

タウレレイ氏は、パンデミックはまた、デジタル時代に向けて地域をより良く装備する緊急の必要性を示したと付け加えた。

「中小企業や個人のデジタルスキルをアップグレードし、インフラに投資し、より継ぎ目のない相互運用可能なデジタル取引を可能にする必要がある」とタウレレイ氏は述べた。

タウレレイ氏は、ABAC が APEC プトラジャヤ・ビジョン 2040 の詳細な実施計画の策定を歓迎し、この重要な取り組みのリーダーシップを執ったニュージーランドに祝意を述べた。

「プトラジャヤ・ビジョンの野心的な目標はまさにわれわれの地域が必要としているものではあるが、われわれのコミュニティやビジネスは、ビジョンが実現するまでさらに 20 年待つ余裕はない。この地域の課題に正面から取り組むために、われわれは APEC 参加国・地域に実施計画を直ちに実行するよう要請する」とタウレレイ氏は結んだ。

以上